

宮崎県立美術館は、現在約4,200点の作品を収蔵しています。これらは、次の3つの収集方針に基づいて収集されています。

1. 郷土出身作家及び本県にゆかりのある作品、2. わが国の美術の流れを展望するにふさわしい作品、3. 海外のすぐれた作品  
ここでは、当館のコレクションを代表する国内外の名品を展示しています。今回は、わが国の絵画史に大きな足跡を残した日本画の大家である川端玉章や川合玉堂、洋画の和田英作や中澤弘光の名品のほか、海外作家では自作のミニチュア複製をトランクに詰め込んだマルセル・デュシャンの携帯型美術館とでも言えるような作品などを紹介しています。

また、誰もが知っている西洋の名画をモチーフにして制作された作品を特集展示します。美術史に名を残す作家たちの名品の数々をご覧ください。

## ■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	技法
1	川端 玉章	1842~1913	梅錦鶏鳥図	不明	87.5×56.4	日本画
2	川合 玉堂	1873~1957	松溪飛瀑図	1916 (大正5) 頃	152.3×71.1	日本画
3	堅山 南風	1887~1980	玻璃槽 (鯉)	1942 (昭和17)	146.7×177.8	日本画
4	和田 英作	1874~1959	暁	1936 (昭和11) 頃	37.8×45.5	油彩
5	中澤 弘光	1874~1964	海苔とる娘	1913 (大正2)	160.0×129.0	油彩
6	マン・レイ	1890~1976	女とその魚	1941	51.1×61.2	油彩
7	ルネ・マグリット	1898~1967	白紙委任状	1966	39.9×47.6	水彩
8	マルセル・デュシャン	1887~1968	トランクの箱 シリーズE	1963	40.3×37.9×9.4	ミクスト・メディア
9	サルヴァドール・ダリ	1904~1989	『マルドロールの歌』	1934	21.7×16.4	エッチング
10	サルヴァドール・ダリ	1904~1989	『マルドロールの歌』	1934	21.8×16.4	エッチング
11	鬚嘔	1931~	虹使いA	1992 (平成4)	194.8×259.4	アクリル
12	鬚嘔	1931~	グッドバイ・ムッシュ・ゴーギャン	1973 (昭和48)	137.0×208.0	シルクスクリーン
13	山本 容子	1952~	After-我々はどこから来たか?	1996 (平成8)	39.6×42.5	エッチング
14	山本 容子	1952~	After-我々とは何か?	1996 (平成8)	39.6×42.4	エッチング
15	山本 容子	1952~	After-我々はどこへ行くのか?	1996 (平成8)	39.6×42.6	エッチング